

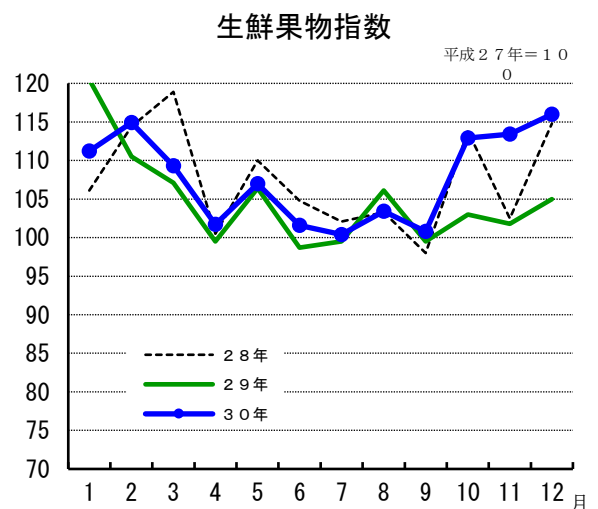
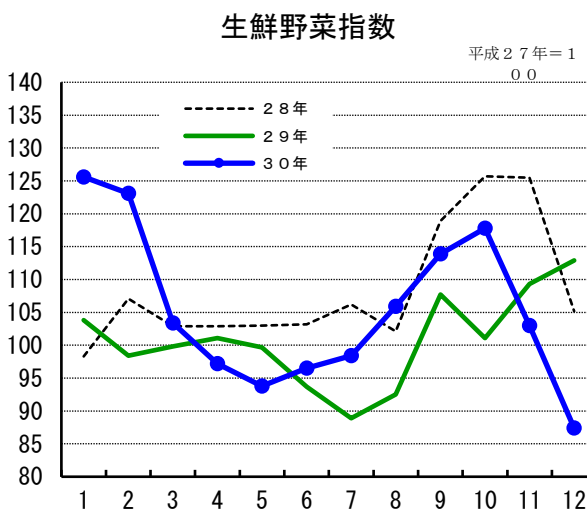
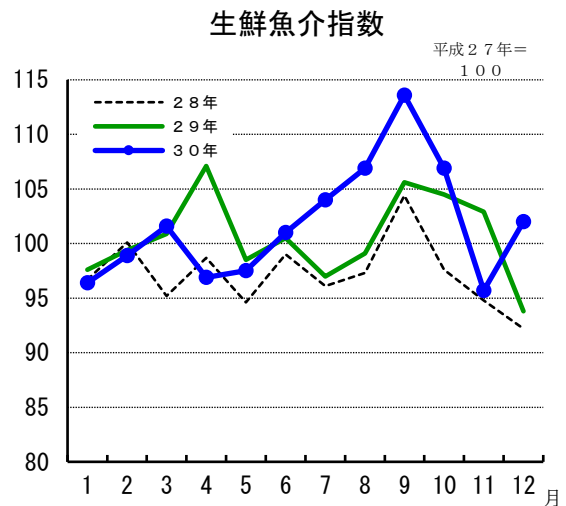
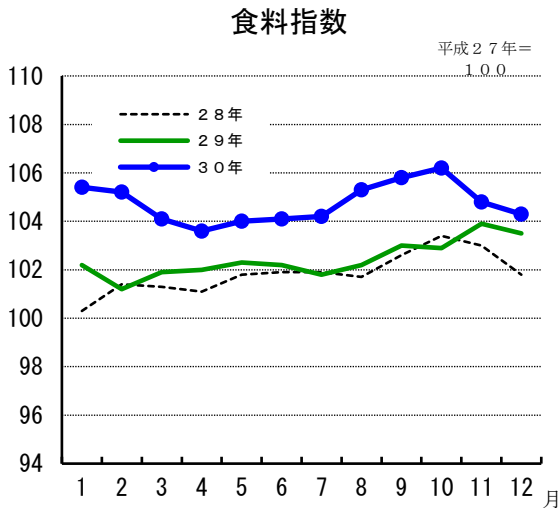
4 費目別指数の動き

(1) 食料

年平均指数は104.7となり、前年に比べ2.3%の上昇となった。

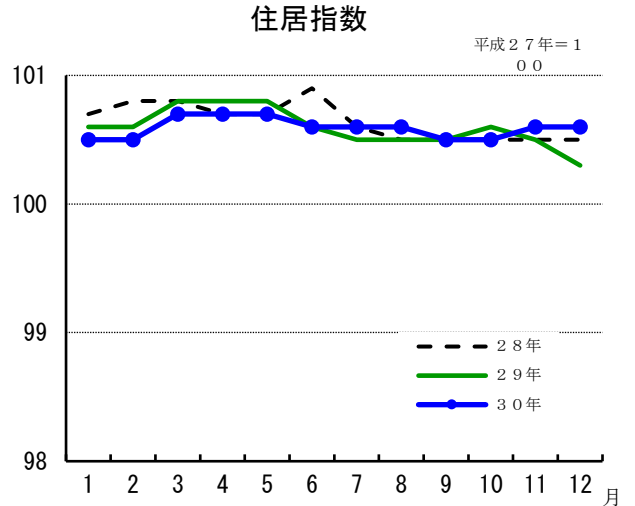
生鮮食品についてみると、生鮮魚介が1.2%の上昇、生鮮野菜が4.7%の上昇、生鮮果物が2.8%の上昇となり、生鮮食品全体では3.2%の上昇となった。

生鮮食品以外の内訳をみると、穀類は2.1%の上昇、魚介類は2.0%の上昇、肉類は9.5%の上昇、乳卵類は2.2%の上昇、野菜・海藻は4.4%の上昇、果物は2.6%の上昇、油脂・調味料は0.7%の下落、菓子類は0.1%の下落、調理食品は0.7%の上昇、飲料は0.3%の上昇、酒類は0.4%の下落、外食は1.5%の上昇となった。



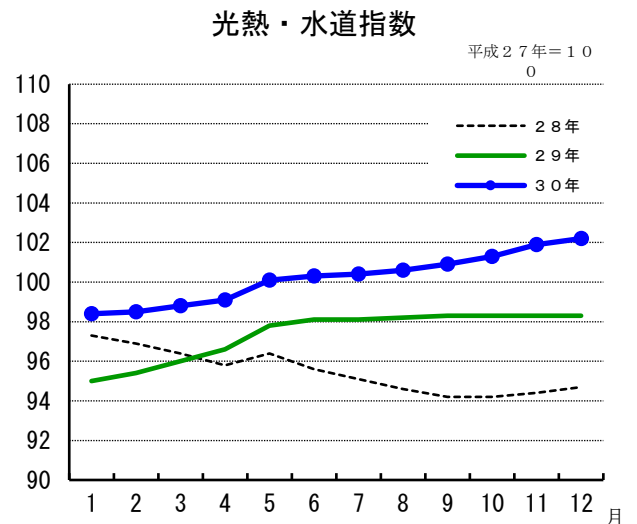
(2) 住居

年平均指数は100.6となり、前年と同水準となった。内訳をみると、家賃は0.2%の下落、設備修繕・維持は1.1%の上昇となった。



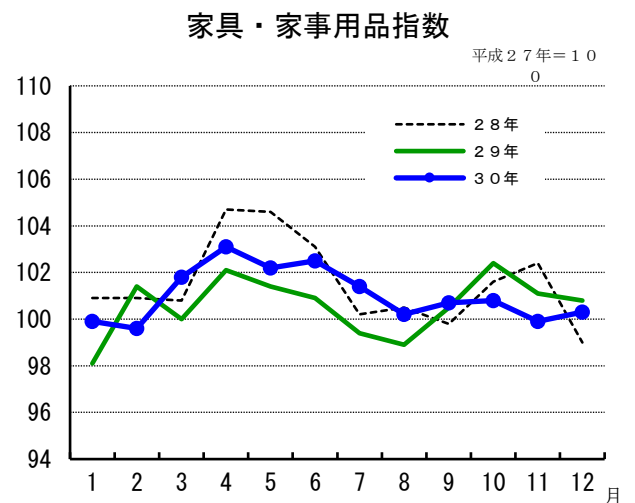
(3) 光熱・水道

年平均指数は100.2となり、前年に比べ2.9%の上昇となった。内訳をみると、電気代は4.5%の上昇、ガス代は1.8%の上昇、他の光熱は15.1%の上昇、上下水道料は前年と同水準となった。



(4) 家具・家事用品

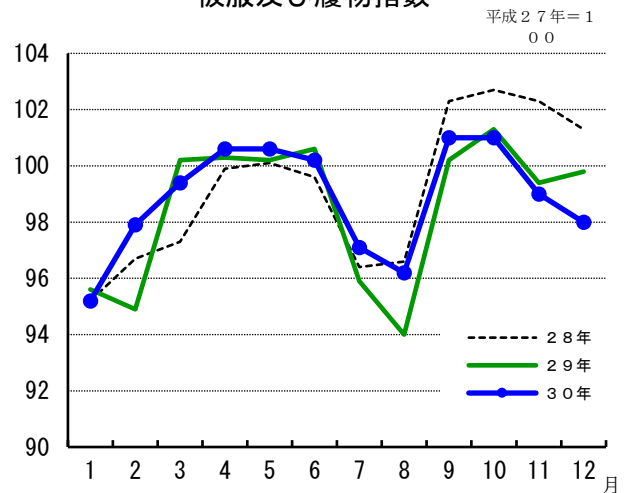
年平均指数は101.0となり、前年に比べ0.4%の上昇となった。内訳をみると、家庭用耐久財は4.1%の上昇、室内装備品は前年と同水準、寝具類は4.5%の下落、家事雑貨は1.3%の下落、家事用消耗品は1.3%の下落、家事サービスは前年と同水準となった。



(5) 被服及び履物

年平均指数は 98.8 となり、前年に比べ 0.3% の上昇となった。内訳をみると、衣料は 1.5% の上昇、シャツ・セーター・下着類は 0.5% の上昇、履物類は 3.4% の下落、他の被服類は 1.8% の下落、被服関連サービスは 3.8% の上昇となった。

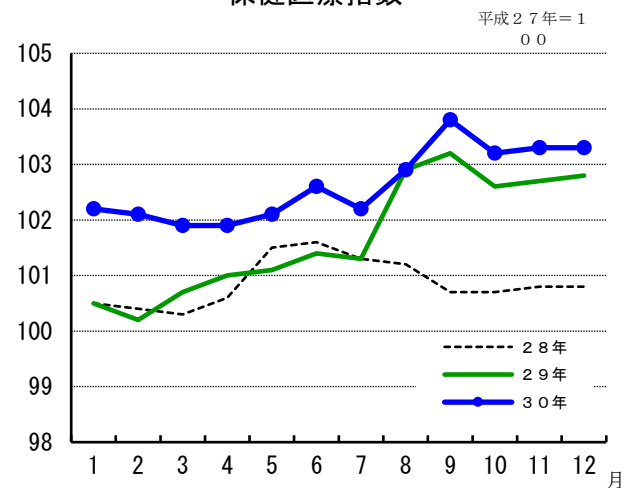
被服及び履物指数



(6) 保健医療

年平均指数は 102.6 となり、前年に比べ 0.9% の上昇となった。内訳をみると、医薬品・健康保持用摂取品は 2.2% の下落、保健医療用品・器具は 0.4% の上昇、保健医療サービスは 2.9% の上昇となった。

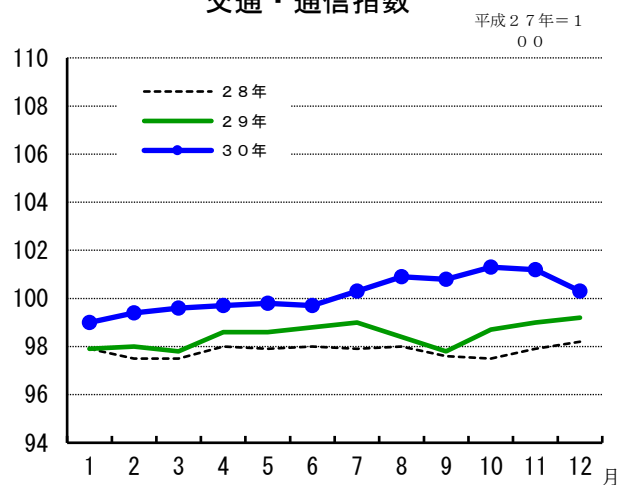
保健医療指数



(7) 交通・通信

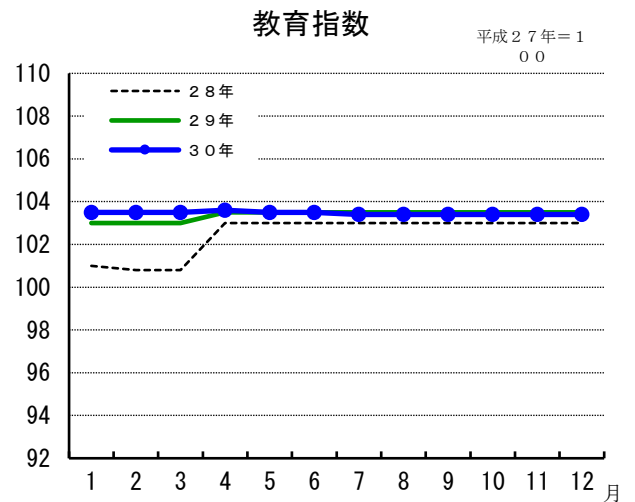
年平均指数は 100.2 となり、前年に比べ 1.7% の上昇となった。内訳をみると、交通は 0.2% の上昇、自動車等関係費は 3.5% の上昇、通信は 1.6% の下落となった。

交通・通信指数



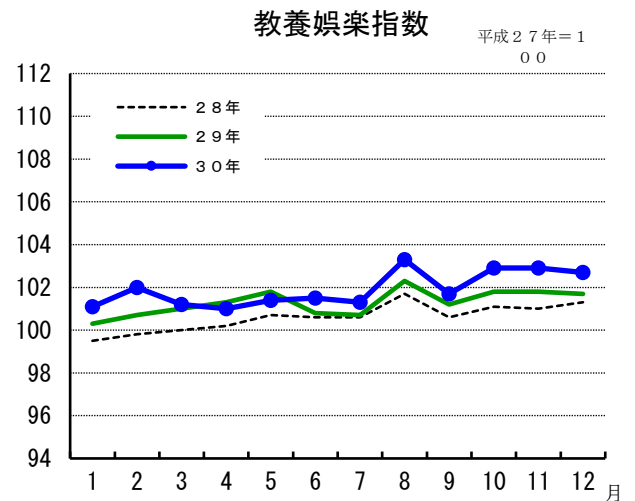
(8) 教育

年平均指数は103.4となり、前年と同水準となった。内訳をみると、授業料等は前年と同水準、教科書・学習参考教材は0.1%の上昇、補習教育は0.1%の上昇となった。



(9) 教養娯楽

年平均指数は101.9となり、前年に比べ0.6%の上昇となった。内訳をみると、教養娯楽用耐久財は0.3%の下落、教養娯楽用品は0.5%の上昇、書籍・他の印刷物は0.6%の上昇、教養娯楽サービスは0.7%の上昇となった。



(10) 諸雑費

年平均指数は101.6となり、前年に比べ0.6%の上昇となった。内訳をみると、理美容サービスは前年と同水準、理美容用品は1.1%の上昇、身の回り用品は0.4%の上昇、たばこは3.0%の上昇、他の諸雑費は0.4%の上昇となった。

